

わが町のここが聞きたい

問 遺産のすばらしさを今後も

答 実施状況も見ながら十分に検討していく



質問者の動画が視聴できます。

おおたか つねぞう
大高 恒藏 議員



問 大高議員

①世界遺産登録30周年を迎えた白神山地の今後について、今年度の事業を検証し、町民に世界遺産のすばらしさを認識してもらうイベント等を実施すべきと思うが。
②日本遺産「北前船寄港地船主集落」についても、小中学生を対象とした学習体験や他町との交流で、子供の時から世界遺産と日本遺産が町にあることを認識させる事業を計画してはどうか。

答 町長

①既に町内に30周年を祝する記念ポスターを掲示しているほか、おもてなしの意味を込めて「ようこそ白神山地の町・深浦へ」ののぼり旗を沿道に立てている。更に、「白神山地の水・青池ラベル」の制作や「海上花火大会」を開催した。また、「白神山地の町・ふかうら」のPRはもちろんだが、本町の魅力を再認識してもらうため、「観光写真コンテスト」を実施し、世界遺産登録

31年目以降も、白神山地のPRに活用していく。これらの実施状況も見ながら十分に検討していく。

②各小学校の校外学習等で、円覚寺や風待ち館を見学している。鱒ヶ沢町と野辺地町では、小学3年生から6年生を対象に歴史や文学を学ぶ探検ツアーを実施しているが、本町も同様の事業を実施できるか検討していく。また、北前船寄港地三港連携事業として、鱒ヶ沢町、野辺地町と連携して北前船に関するパネル展やスタンプリーを行って今年度で3年目となる。



▲白神山地ブナ原生林

地域活動休暇を町職員に

問 大高議員

町職員が、自治会や自主防災活動、各種サークルなど地域貢献活動ができる休暇を創設すべきと思うが。

答 町長

自治体の休暇制度は国家公務員に準ずるべきものとされており、「職員は公務優先が原則であり、安易に特別休暇を増やすべきではない」とする国の考え方もあることから、導入の是非については地域のニーズを十分理解しつつ、職員が休暇を取ること、どのような地域貢献ができるのか、自治会などの意見も聞きながら慎重に検討したい。



わが町のここが聞きたい

あともう1期
吉田町政を

問 大高議員

吉田町政4期目も残りあと1年余り、当初掲げた3つの基本政策などに挑んできたが、医療の制度始めこれといった成果がみられず物足りないと感じる。残り1年で満足する成果は無理と思うので、あともう1期を務めてもらえないか。

答 町長

4期やらせていただいて、政治家の出処進退は自分で決断を下すしかない。やり残したことはありません。だからと言って出馬の動機にならない。自分の体力と情熱など様々考えて、次の人へ譲ることも選択肢にあってもいいと思う。



祭りの復活を
真剣に考えて

問 大高議員

今夏の海上花火大会は、久しぶりに感動した。ぜひとももう1日イベントを実施し夏祭りとして定着できないか。また、チャンチャン祭り、ねぶた運行などを復活すべきと思うが。

答 町長

この海上花火大会を持続的な祭りやイベントとして今後



▲深浦ねぶた祭り合同運行の様子 (2012年8月5日撮影)



▲チャンチャンと深浦牛まつりの様子 (2018年10月20日撮影)

構築できるか検討していく一方で、観光産業に限ったことではないが、マンパワー不足の影響とその解決策についても、関係部署や関係機関のほか、地域の皆さんとともに模索・検討していく。

修道小6年生が議場を見学しました！



10月26日に修道小学校の6年生7人が、校外学習の一環で議場を見学し、町議会の仕組みや議員の仕事について学びました。また、普段は入ることのできない議場で、議長席や議員席、町長席、傍聴席などに実際に座って、マイクを使った会議の雰囲気を経験しました。今度からYouTubeで議会の様子を観たいなどの声もあり、町議会をより身近に感じていました。